

科目名	臨床実習 1								年度	2024
英語科目名	Clinical training 1								学期	後期(通年)
学科・学年	柔道整復科 1 年次		必／選	必※	時間数	45	単位数	1	種別※	実習
担当教員	有山敦士、小西裕司、青木伊之、宮本功三、後藤晃弘、杉本知		教員の実務経験		有	実務経験の職種		柔道整復師（接骨院にて勤務経験あり）		
【科目の目的】 柔道整復師としての臨床における実践的能力及び保険の仕組みに関する知識を習得し、患者との適切な対応を学び、施術者としての責任と自覚を養うことを目的とする。										
【科目の概要】 片柳学園付属接骨院にて実習を行います。										
【到達目標】 医療人として必要最低限な身なり・言動・所作を身につける。医療事故や医療過誤を防止するという観点から、接骨院内で起きたことについて把握をして逐一責任者に報告する習慣（ヒヤリハット報告）を身につけることで危機管理能力を獲得することを目標とする。										
【授業の注意点】 学生間・教員ならびに付属接骨院へ来院した患者とのコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、実習中の私語や実習態度（言動・身なり）などには厳しく対応する。臨床実習であるため原則として遅刻や欠席は認めない。実習に参加するだけでなく、社会人としてのマナーをわきまえて実習に参加することを求める。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル 5 優れている		レベル 4 よい		レベル 3 ふつう		レベル 2 あと少し		レベル 1 要努力	
到達目標 A	院内で患者に信頼を得られる施術者として相応しい身だしなみができる。		院内で施術者に相応しい身だしなみができる。		院内で施術者としての身だしなみができる。		施術者としての身だしなみがやや不足している。		施術者に相応しい身だしなみができていない。	
到達目標 B	施術者に相応しい挨拶と言葉遣いができる。		施術者としての挨拶と適切な言葉遣いができる。		挨拶と適切な言葉遣いができる。		挨拶や適切な言葉遣いがやや不足している。		施術者に相応しい挨拶と言葉遣いができていない。	
到達目標 C	施術者として時間や約束事をしっかりと守ることができる。		施術者として時間や約束事を守ることができる。		時間や約束事を守ることが心掛けている。		時間や約束事を守ることがやや不足している。		時間や約束事を守ることができない。	
到達目標 D	施術者として患者に好感を持たれる態度がとれる。		施術者として患者に不快感を与えない態度がとれる。		患者に不快感を与えないように心掛けている。		患者に不快感を与えない態度がやや不足している。		患者に不快感を与えない態度がとれない。	
到達目標 E	施術室や待合室などの清潔保持が完璧にできる。		施術室や待合室などの清潔保持ができる。		施術室や待合室などの清潔保持を心掛けている。		施術室や待合室などの清潔保持がやや不足している。		施術室や待合室などの清潔保持ができない。	
【教科書】 教科書（柔道整復理論編一般社団法人全国柔道整復学校協会監修一）に準拠する。										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】 実習内容と課題を総合的に評価する。										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		臨床実習 1			年度	2024
英語表記		Clinical training 1			学期	後期(通年)
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	態度①	施術者に相応しい身だしなみについて。	1 服装	清潔な施術義の着用について理解する。	3	
			2 頭髪	適正な長さや毛染めの禁止について理解する。		
			3 指先	爪の手入れの必要性について理解する。		
2	態度②	施術者に相応しい態度について。	1 表情	いつもにこやかに対応する必要性を理解する。	3	
			2 言動	常に患者の側に立った会話について理解する。		
			3 清潔感	衛生的配慮について理解する。		
3	態度③	施術者に相応しい心掛けについて。	1 時間厳守	5分前行動の厳守について理解する。	3	
			2 規律保持	医療事故・医療過誤の防止について理解する。		
			3 注意義務	医療従事者として遵守すべき事項の確認について理解する。		
4	態度④	患者に好感を持たれる態度について。	1 挨拶	元気に明るく挨拶をすることへの重要性を理解する。	3	
			2 コミュニケーション	積極的な接遇の必要性を理解する。		
			3 振る舞い	気遣いを心掛けることへの重要性を理解する。		
5	付帯業務	清潔保持について。	1 清掃	院内外の清掃の徹底について理解する。	3	
			2 備品の衛生管理	消毒による機材等の汚染防止について理解する。		
			3 換気	空気の入れ替えを励行することへの重要性を理解する。		
6			1			
			2			
			3			
7			1			
			2			
			3			
8			1			
			2			
			3			
9			1			
			2			
			3			
10			1			
			2			
			3			
11			1			
			2			
			3			
12			1			
			2			
			3			
13			1			
			2			
			3			
14			1			
			2			
			3			
15			1			
			2			
			3			

評価方法：1. 小テスト、35. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等